

町報 まっしま

町の人口
 4月1日現在
 男 8,037人
 女 8,447人
 計 16,484人
 世帯数 3,889戸

編集と発行 宮城県松島町役場企画管財課 昭和49年5月1日 NO.1号



(撮影 昭和49年4月23日 本郷保育所にて)

夏に入る

桜が散ったあとは、濃くなった太陽の明るい日ざしが、保育所の庭木の葉にも、子どもたちの遊戯の輪にも、夏めいた光を注いでいる。

へ屋根より高い鯉のほりと、元気に歌う子どもたちの声と共に、赤い鯉が風に写字んで空におどり、矢車が、カラ、カラと音をたてて爽快な五月の生活のリズムをかなでているよ
 うだ。

昭和49年

5月

町長のあいさつ

本年度の施策について

松島町長 磯田光雄



五期二十年の長きに涉り町政を担当されてきた伊藤町長の勇退による町長選挙が執行され、不肖私、町民総参加の政治を求める町民各位の御支援を得まして当選の榮譽を賜った次第であります。今後は心を新にし、一意専心町政の発展と住民福祉向上のため全力を傾注し、町民の負託にお答えする覚悟であります。

国民生活安定

さて一方目を町政外に転じますとき、中東戦争に端を発したアラブ諸国の石油輸出制限により国内はその影響を受け揺れに揺れ動いておるのであり正に民心は、あの戦争中の物不足の時以上な深刻さが、ひしひしと肌を感じさせられておるのであります、いわゆるこ

の石油危機は電力危機となり、すべての重要産業鉄鋼、石油化学、非鉄等、それに関連する産業に及ぼす影響は非常に大きく、これ等石油、電力をエネルギー源とする生産縮小、輸送力の減退等から物資材不足は物価の異常な高騰につながり、国民経済の影響は極めて大きく国民生活は不安と不信を醸成しているところであります。

国においては急遽石油危機緊急対策本部を設置し行政指導の強化をはかり、更には石油需給適正化法と国民生活安定緊急措置法の成立を、一方政府に国民生活安定緊急対策本部が改めて設置されることになったのであります。

福祉優先

つづいて昭和四十九年度政府予算編成方針は物価、地価の抑制、資源の節用と国民生活の安定に焦点をおいた総需要抑制型の子算の決定をみたのであります。

この不測の経済危機に対処するには地方自治体は率先政府の施策に協力すべきことは論をまちません。われわれ町村行政の掌にあたるものもつとも憂えているのは、

民心の安定と直接住民の生活に關連深いあらゆる施策を行うべきものであります。例えば昔と違つて今では農山漁村でも日常生活や農林水産物の生産或は出荷に不可決となつたLPG、石油不足がこれら農山漁民の生活基盤をおびやかすという由々しい問題が起きておるのであります。明るい町、住みよい安らぎのある町造りを旗印しに推進する各々の町や村の環境整備は、ともすれば産業優先、高度経済成長の蔭になり立ちおくれ

ていることは事実であります。亦わたくし共多年の願いであり住民の待ちのぞむ福祉面について



は、ようやく政府の施策にとり入れられ昨年は福祉元年と称せられ各自治体もこれに意欲を燃し臨んだのであります。しかるに物価の急騰と、資材の不足が加わり、公共事業の単価値上がりや資材の入手難から工事進捗にさてつをき

たし、のみならず一部入札すら不可能という事態を招くに至つたところもあります。もとより国においては数次に亘り補助単価の引上げが行われたものの、ご承知の通り物価値上げが先行、且つ今回の石油危機が加わつたのであります。住民が強く望んでいる生活環境整備、福祉向上の面における保育所、幼稚園、町道整備、或は文教施設等これらの完備についても心せねばならぬ重要なものであります。

この非常事態ともいふべき今次昭和四十九年度予算編成にあつては、まづ第一に国、県との同一基調により極力才出の圧縮をはかり、赤字防止に意を用い、財源の重点配分と経費支出の効率化に努めるとともに、年度途中の財源需要に対処できるよう財源の確保に努める所存であります。

建設計画

第二には既に策定中の昭和四十六年度を初年度とした第三次松島町建設計画に検討を加えつつ、更にまた、特に施策面につきま

接続、これによって松島—三陸との観光ルートを開き町政発展を期待する一方、町内小中企業者に対しては資金融資枠の拡大によって商工振興に対処いたしたいと思つてます。また教育面につきま



は松島高校に全日制男子部併置の促進運動を展開、更に社会教育振興の拠点、中央公民館建設につきましても早い機会にこれが実現に努めるとともに、運動公園、保育所の充実にも意を注ぎ生活の基盤整備に努力する覚悟であります。更に亦義務教育費の家庭負担等につきましても極力その軽減をはかり衛生或は福祉面においては上下水道の整備をはじめ、診療施設の充実、老人憩いの家の建設計画を樹てるなどすべて住民サイドの行政実現に邁進致す所存であります。ここに以上の所信を表明し皆様の一層の御理解と御協力を心からお願い致す次第であります。

昭和四十九年度 予算編成の大綱について

松島町助役 武山 仁 治



本年度の予算編成は、国及び県が基本としている公共事業費の削減、或は繰延べ等による総需要抑制策を織り込んだことに対応し、地域住民に直結する、生活基盤の環境整備(保育所、幼稚園、学校、下水道等整備)と併せて福祉の面にも配慮しながらも、全体としては、国、県と同一基調の抑制型としており、特に需用費は前年度当初の額を踏襲し極力節減合理化を図り、事情止むなき場合のみ補正措置することに致したいと思っております。

総体からみて

昭和四十九年度一般会計並びに特別会計、上水道事業会計の総額は、一、〇七五、二九五千円となり、前年度当初の一、〇三七、九七九千

円に比して三六〇%の伸び率となります。このうち一般会計は、六六六、〇〇〇千円で前年度の五九〇、〇〇〇千円に対し、一、二七八%の増となります。この予算に対する歳入費目別構成をみますと、町税収入は前年度の二二〇、八三三千元に比べて新年度は、二六一、六九二千円で、一五%の増加を見込み計上しております。この主たるものは、自主財源である町民税をはじめ、固定資産税、そして今次新設の土地保有税、地産ゴルフ場に係る娯楽施設利用税交付金、五、一七七千円等が見込まれておるのであります。亦国庫支出金については、四、五%の増であり、地方交付税については前年度より九六%の伸びに止まっておりますが、これは基準財政収入額である町税の伸びによるものであります。

て大きいのであります。比率において前年度より、二七・四%の減をみております。これは第一小学校舎建築、プール建設等(八八、一〇千円)の完了による為であります。亦土木費については一〇・八%、民生費については一七・二%各々増加を示しております。

主なる事業

つきに、これらを併せ各費目別に主な投資的事業とその考え方についてご説明いたします。

まず総務費のうち交通安全対策費に防犯灯設置、戸籍関係では住民サービスの為のパソコン外の機械を購入、また協議を戴いておりました水道事業会計の赤字補填分、二、一八〇千円の繰出しをみております。そのほかは人件費等による増であります。つきに民生費であります。福祉施設、老人憩の家建設基礎調査、幼児学級、視聴覚としてカラーテレビを備付、各保育所の整備充実、母子家庭貸付金の増額を見込み、また前年から老人・乳児・障害者の医療費無料化による併せ二四・三%の増加額を計上し福祉向上に努める所存であります。衛生費については例年通り各種検診、予防接種を行いますが、新たな試みとして母子栄養強化対策として妊産婦、乳児に対し、ミルクの現物支給対象四十五人分、また長い時間打越地内

仮埋葬しておる無縁佛の納骨堂を建築し、環境の保全をはかる一方、献血の助成、役場前から磯崎に通ずる下水路の汚泥除去、宮城東部衛生処理合、じん芥処理負担金、し尿処理施設負担金、一五、二〇〇千円を含む前年度より五七・八%増の総額五八、三八〇千円を計上し保健衛生環境衛生の整備を図るものであります。

亦農林水産業費は三四、九二六千円を計上しておりますが、先に町長の施策の一端に申し上げております本町の総合農業の振興協議会を設置し、流動する農業情勢に対処し、農政全般の近代化をはかり農家経済の安定を期する為、助成金として現在まで個々の組合に交付した分を統括し、それに上積をはかり計画的に効率化を期するものであります。また桜渡戸初原本郷地区農業用水確保として、さく井調査委託費三、〇〇〇千円。地籍調査費、品井沼の一部、上竹谷三、四七平方キロメートル分二、一七六千円を見込んでおります。

次に商工費は中小企業融資貸付金二、〇〇〇千円を加え、合計五、〇〇〇千円とし、一方観光関係については、新企画によるバンフレット、海岸海女関に歓迎塔の設備費を計上しております。土木費は総額六〇、七〇〇千円で主なものとしては、下水道基本調査委託料、普賢堂下水路工事他道路維持費、砂利代等、高城町東停車場線舗装、

高城左坂線舗装、上竹谷新田町道路舗装、中才・後浦線道路改良、初原宮下橋、松本橋架替等の住民の生活道路の整備充実を図る所存であります。消防費につきましては塩釜地区消防事務組合に対する負担金が主なるものであります。今年度は更に松島消防分署庁舎を一応この九月末に完成までを目標に進めると共に、その分担金三、〇〇〇千円、この外防火水槽五、〇〇〇千円四ヶ所分、小型動力ポンプ更新三台、搬送車三台更新、消火栓一〇ヶ所二、五〇〇千円を計上して消水防災態勢の万全を期するものであります。

特別会計

次に特別会計の概要を申し上げます。国民健康保険特別会計につきましては前年度と比較して二〇・六%の増となっております。これは主として二月一日よりの医療費改定による一九%の値上げと老人医療費無料化による受診率

第3回定例町議会

昭和四十九年度一般会計他各種特別会計などを審議する第三回定例議会は三月十一日招集され、会期を十一日間と決め、町長より昭和四十九年度の施政方針が述べられ、提出議案の説明後総括質

疑が行われ議案審議を各常任委員会に付託し、各常任委員会でそれぞれ所掌議案を詳細にわたって審査し、二十一日本会議を再会して全議案が可決された。本年度は磯田町政の発足を迎え、町内各般の整備充実をはかり実施にあたることにした。

昭和四十九年度予算が決まる

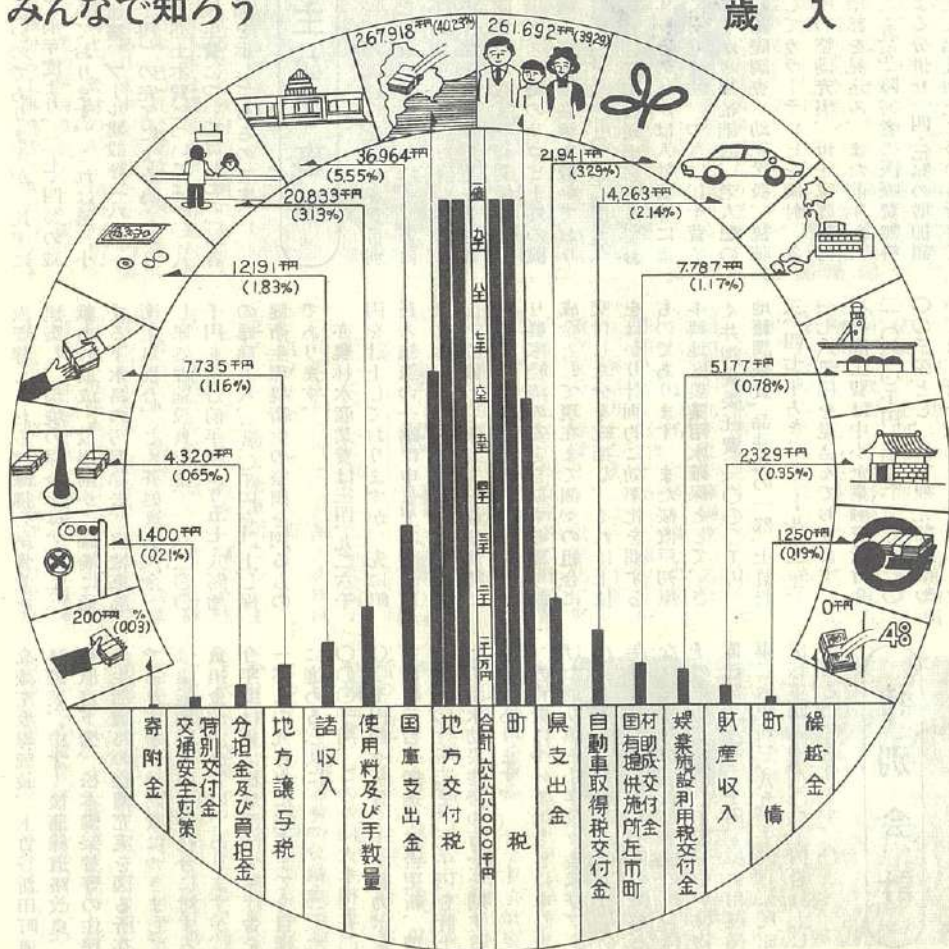
総額拾億七千五百二十九万五千元

の増と、本年一月から乳児医療費無料対象年令の引上げ、助産費、葬祭費支給額の引上げなど、更には五十年一月から実施されます高額医療費の支給制度、これは簡単に申し上げると「医療機関に一月に支払う医療費自己負担額が三万円を超えるときは、その超えた分を、町が負担する」というものですが、これら一切を含めて総額三六、九四二千円の新規財源を差引いて二七、五八〇千円を保険税として増加することに見積っており、また診療所勘定につきましては前年度に比べ四一・九%増となり、これは歳入面では医療費改訂による収入増を見込み、歳出においては医療品の値上げや給与改訂による人件費の増を見込んでおります。松島区外有財産特別会計につきましては総額二〇、九三〇千円となりますが、その主たるもの

は松島区でありまして、財産金より生ずる利子収入九、八七三千元をそのまま積立金とし、一〇、六二〇千円を積立金から繰入れて道珍浜舗装工事や前年度よりの一部繰越である霞ヶ浦側溝舗装工事等道路費に五三、〇〇千円、消防会館前の整備や消防ポンプ置場等消防費に四、八二〇千円、公園費に四〇〇千円とそれぞれ充てております。高城區につきましては基金より一四、五千元を繰入れて街路灯一〇基の設置を予定いたしました。上水道会計につきましては昭和四十八年度の決算見込において累積赤字二八、二四千元となり、差し当り本年度予算は現行料金で見積りしましたので一般会計より二、二八二千元を繰入れることとしましたが、それでも更に一七、六七四千円の赤字見込の予算であります。尚前年度の赤字繰越分を合せますと四、五七八千円の赤字となり、一応

みんなで知ろう

歳入



水道料金の改訂に踏切らなければならぬのでありますが、これにつきましては慎重に検討する必要があります。追加して需要家への広報の徹底等も考え合せ本年四月の新年度よりの実施は困難との見通しに立

って当初予算での改訂を見送り現行料金で見積ったわけで早急にこの結論を出さねばならないものと存じます。配水管延長工事は必要最少限と思われる二、二〇〇千円とし、老朽配水管の布設替は漏水調

査によってその費用が浮かぶものではあるが、一応四、〇〇〇千円を計上し一般需用費等を極力圧縮した緊縮予算としております。以上が本年度予算の大綱であります。

提 出 議 案

①昭和四十八年度松島町一般会計補正予算議定 ②同四十八年度松島町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算議定 ③同四十八年度松島町国民健康保険診療施設勘定特別会計補正予算議定 ④同四十八年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算議定 ⑤同四十八年度松

昭和四十九年度松島町総予算

(単位千円)

子算科目	金額	
	本年度(四十八年)	前年度(四十八年)
一般会計	六六六、〇〇〇	五九〇、〇〇〇
国保会計	一一二、二〇〇	一七六、〇〇〇
診療所会計	二六、五三〇	一八、七〇〇
上水道会計	一〇三、七〇〇	一一二、四七〇
観瀾亭会計	一一、六三五	一一、〇九〇
松島区外 区有財産会計	二〇、九三〇	九、〇四四
土地購入基金会計	〇	六七五
合 計	一、〇七五、二九五	一、〇三七、九七九

島区外区有財産特別会計補正予算議定 ⑥同四十八年度土地購入特別会計補正予算議定 ⑦同四十八年度水道事業会計補正予算議定 ⑧同四十九年度松島町一般会計予算議定 ⑨同四十九年度松島町国民健康保険事業勘定特別会計予算議定 ⑩同四十九年度松島町国民健康保険診療施設勘定特別会計予算議定 ⑪同四十九年度松島町観瀾亭等特別会計予算議定 ⑫同四十九年度松島町国民健康保険事業勘定特別会計予算議定 ⑬同四十九年度水道事業会計予算議定 ⑭松島町土地購

広報「まつしま」の発刊によせ

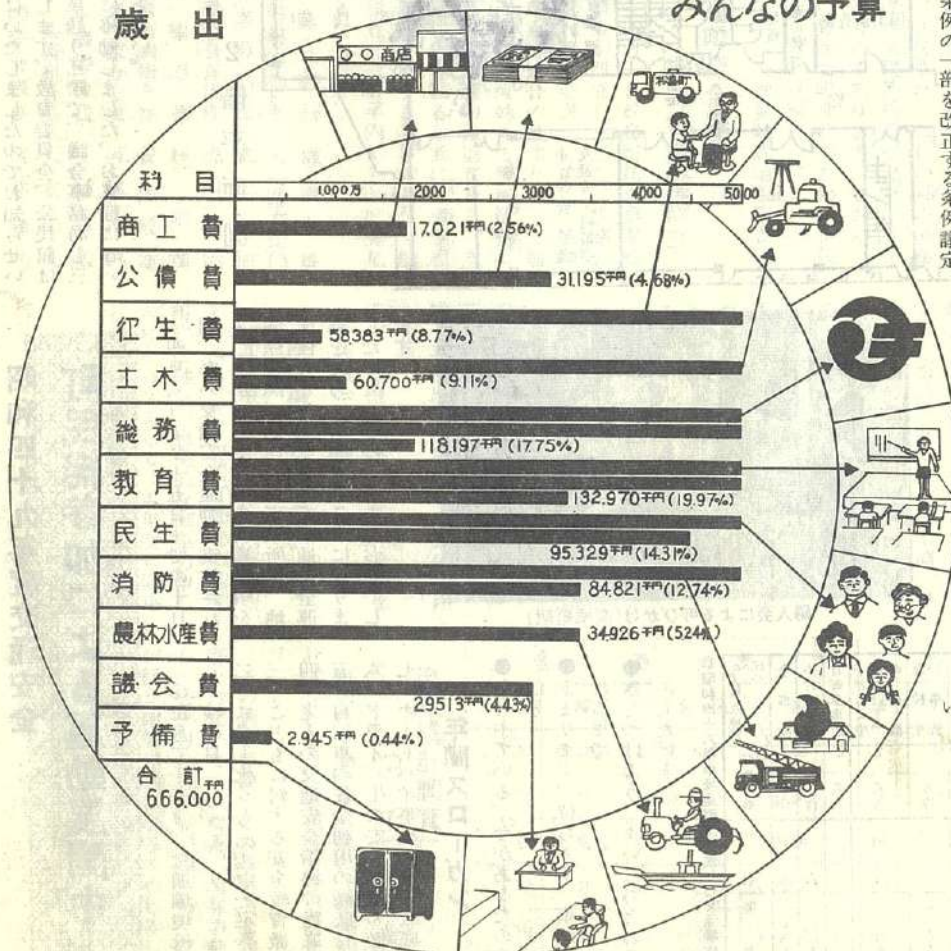
松島町議会議長 桜井 隆一



町民のみなさんに町の行政施策をはじめ、地域のこころばしいこと、この広報紙が、町民のみなさんと町のパイプ的約割を果して、町を発展的に解消して、町

みんなの予算

歳 出



入特別会計条例の廃止議定 ⑮松島町国民健康保険条例の一部を改正する条例議定 ⑯松島町保育所設置条例の一部を改正する条例議定 ⑰松島町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例議定、

請 願 に つ い て

⑱ 諮問答申について
 請一 仙石線高城町駅前にハイタク乗場の設置と、松島町交通安全対策協議会にハイタク労働者の代表を加えられたい。
 請二 失対労働者物資購入金を、大中に引上げられたい。
 請三 町内商工業者育成のため無担保、無保一人、百万円の融資制度を確立していただきたい。

人事異動

町職員

総務課長(保険課長) 福田雅美(四九・一) 企画管財課長(税務課長) 尾口慶悦、税務課長(企画管財課長) 伊藤利雄、保険課長(保険課長補佐) 阿部かひ(四九・一) 出納室長(総務課長補佐) 石川泰(四九・一) 本松島保育所 寧静園所長(高城保育所長) 大窪尚親、高城保育所長心得(保母) 大和清子、本郷保育所長心得(保母) 鈴木直子、民生課長補佐(主事) 赤間萬三郎、衛生課長補佐(公害担当(民生課長補佐) 荒木信一(四九・四・一)

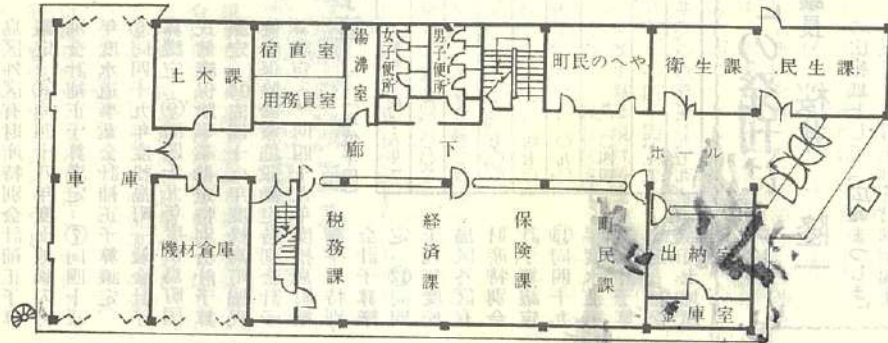
退職 学校長・教頭

松島第一小学校校長 武市 通弘 松島第一小学校教頭 屋代千代雄 転出 多賀城市東小学校長(松島第三小学校) 小畑忠、山王小学校長(松島第五小学校) 戸田三郎 転入

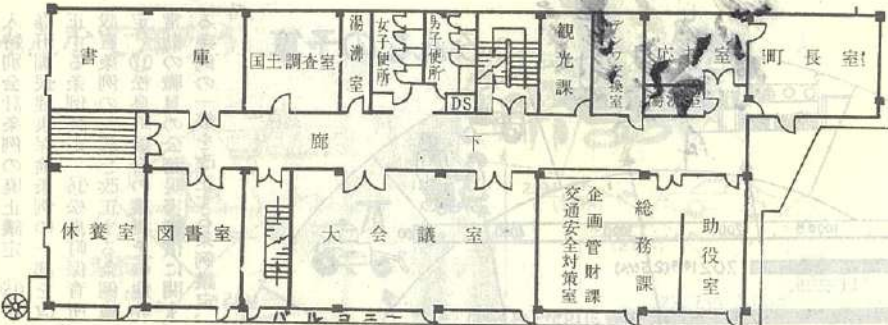
松島第一小学校長(仙台教育事務所教育課長) 阿部元、松島第三小学校長(松島第四小学校) 大泉利治、松島第四小学校長(仙台教育事務所) 佐藤一郎、松島第五小学校長(三本木町高倉小学校) 早坂豊四郎、松島第一小学校教頭(追教育事務所) 矢口正敏

庁舎案内

1階平面図



2階平面図



町民の皆様に、便利やすさと、サービスの向上をねらいとして四月一日より庁舎内の配置を図のよう

うにいたしましたのでお知らせいたします。教育委員会、公民館は従来通り三階で、議事事務局も三階に移動しました。お気軽においで下さい。

昭和四十九年度交通安全 町民総参加による運動展開中

四月六日より十五日までの十日間、春の交通安全運動が実施されましたが、引続き次の実施事項を関係機関、団体及び事業所が、地域住民と一体となって交通安全運動を強力に展開することになりましたので一層のご協力をお願いします。

○毎月二十五日、交通環境総点検の日

年間スローガン

- あせっている、今があなたの赤信号
●止まります。待ちます。車のきれるまで
●きをつけよう、まいにちとおるみちだけ



婦人会による呼びかけ(高城町駅)

年間実施事項

- 一、五の日運動
○毎月五日、正しい交通ルール実践日
○毎月十五日、交通事故ゼロの日と、マイカー一日休養日

◎昭和四十八年中松島町で発生した交通事故

Table with columns for accident types (e.g., 全事故, 歩行者事故, 自転車事故) and counts for deaths and injuries.



水道事業所より

お願い

松島町の水道事業は昭和四十六年度より施工しておりました第五次拡張工事がこのほど完工し全町くまなく給水出来るようになりました。この工事完成のために投じた工事費用は三億六千万円に上っております。又工事の大部分を国などからの借入金で賄ったので元金や利子を年々払わなければならぬため現在のまゝの料金ですと水道事業の経営が維持できなくなります。

このためどうしても料金を改訂しなければなりませんので現在のその検討中でございます。その折にはよろしく御協力を下さるようお願いいたします。

母子家庭の方へ

応急生活資金を借りるには子どもと生活をともにしている配偶者のない女子で、今すぐ小口の生活資金を必要とするときは、役場民生課迄問合せ下さい。

町では五〇万円を支出し、町母子福祉協議会に貸付け事務を委託

しております。

貸付金は一世帯一口で、二万円以内。特に必要と認められるときには六万円以内借ることが出来ます。

尚、母子家庭で協議会に入っていない方は、ぜひ加入されるようおす、めします。

加入申込先

町内松島字道珍浜三八ノ六六
会長 早川モト子あて



お気軽にどうぞ

今年地籍調査は

上竹谷です。

調査地域は上竹谷・品井沼の一部三四七平方杆筆数一九〇〇筆です。これは御承知のとおり皆さんの権利を守り且つ新町建設の基礎を作るために行うものです。今まで皆さんの土地のものになってきた土地台帳・字限図は明治のはじめに地租税をとりたてたための

目的で出来たもので当時の測量技術の幼稚さと長い歳月を経たため現況の移り変りによって今日ではまったくあてにならないり境界争の原因ともなっています。

今回科学的な調査により地籍図、地籍簿を作り国庫の認証を得て登記所に送付され、これからの事業の基礎等又境界紛争を完全に防止されるものであります。皆さん、明るい豊かな町造りのために特段のでご協力をお願いいたします。

企画管財課地籍調査係

松島町総合農業

振興協議会設立

去る四月一日松島町総合農業振興協議会が設立しました。協議会は、町・農業委員会・農協・共済・興農実行組合の団体をもって組織し、現在の流動する農業情勢に対処し適地適産の推進普及と、農業の近代化を図ると共に、農家経済の安定を期するを目的とし、総予算額五、七五五千円をもって発足を見ました。

- 会長、町長 磯田 光雄
副会長農協組組長 大山彦右衛門
理事町助役 武山 仁治
町農委会長代理 虎川 勝治
農協専務 務 林 昭彦
町共済副組長 安住 辰雄
実行組組長 阿部 市郎
監事農委会長 小幡 藤雄
共済組組長 大友 伝夫
顧問協議会長 桜井 隆一

顧問議会副議長 千葉 十一
" 民経委員長 大友 喜代治

松島湾観光港外
整備促進協議会

四月十二日役場会議室において総会が開かれました。この会の目的は、松島湾内に属する港湾、漁港の施設の整備、海岸保全、高潮対策等各種事業の促進を図るもので、この目的を達成するための構成メンバーは、松島、高城、磯崎、手樽の区会長及び関係総代員、松島町漁業協同組合長及び地区主任、松島町観光協会等で構成されています。

尚本年度の総会において承認された事業計画は次の通りです。

休日当番医について

日曜診療については町内医師会と町当局において打合せの結果町内医師会の自発的な御協力申し入れがありまして、本年度も従来どおり休日当番医をお引受け頂くことになりました。

- 一、松島湾新五ヶ年計画事業の促進
- 二、高潮対策護岸工事の促進
- 三、銭神漁港船揚場の早期完成
- 四、早川地区海岸保全事業の早期完成
- 五、古浦漁港航路、泊地の浚渫及び施設の整備促進

商業統計調査に

ついてご協力を

町内の全商店を対象に、商業統計調査が五月一日現在で行われます。

この調査は商店のいろいろな内容をお聞かせいただき、商業活動の実態を明らかにし、国、県、町が行う施策や商店経営のめぐるしとして広く利用されます。

商店経営の皆様は五月一日前後調査員が伺いますので、ご協力のほどお願いします。

当 番 表		月	日	曜	当 番 医	電 話
5	26	日	初原診療所	④3305		
5	3	日	松島病院	④2126		
5	5	日	鈴木医院	④2430		
6	16	日	松島病院	④2126		
12	23	日	小野寺医院	④2607		
19	30	日	海岸診療所	④3702		

観光松島に“春の陣”

年間三百万人の観光客が訪れる日本三景の一わが松島にも春の観光シーズンが到来。それを待ちかねたように新名所がオープンいたしました。

宝物館

伊達家のほだい寺でもある巖殿寺が寺に伝わる宝物類と伊達家にまつわる文化財千余点の保存、公開のため一億円を投じて建設したもので、外形は平安朝様式の造りで、これまであまり観光客の目に触れなかつた宝物が展示されています。



宝物館



王朝風観光船

松島湾観光汽船K.K.が八千三百万円を投じて建造した三階建のわが国はじめての中国宮殿式観光遊覧船です。船首に竜頭、船尾に竜尾を配し極彩色の純中国風で松島湾の島とのコントラストは、おとぎの国を思わせるようです。



龍鳳丸

魚の公園水族館

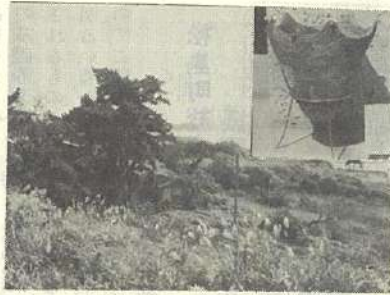
松島水族館が魚の公園として新装オープンしました。四億円をかけ、これまでの水族館を全面的に改築、水槽などある本館は十倍の広さ、内部には海水千トン、淡水四百トンが入る水槽三十面、アワビ、ウニなど観察できるナチュラリウム・ウニや熱帯魚・熱帯植物を配したジャングルパークなど魚の公園にふさわしい施設です。

国史跡指定

西ノ浜貝塚

文化庁は重要文化財の史跡として新指定を発表しましたが、松島町の西ノ浜貝塚が国史跡指定となり、宮城県では二件で、名取市の約二六十年前の民家も重要文化財に指定されました。

松島町磯崎の西ノ浜貝塚は、東北地方の貝塚群の中でも最大級の規模に属する。松島湾に面し、七ヶ浜町の大木田貝塚、鳴瀬町の宮戸貝塚とともに松島湾三大貝塚の一つといわれている環状貝塚です。



西ノ浜貝塚と発掘された土器

三十四、三十五の両年にかけて学術調査が行われ、縄文式文化の後期末から、晩期初頭にかけての土器や、シカの角で作った針、貝で作った腕輪などが多数収集されたほか、東北地方で最初の製塩跡も発見され、縄文中期から長期間にわたって使用されていたことがはっきりしました。また、さる四一年に文化庁の指示で行われた県教委の発掘、測量調査の結果、貝塚の範囲は東西三百三十、南北二百に及び、東北地方の貝塚群の中でも最大規模の貝塚であることが確認されました。同貝塚が国の



文化庁田中調査官の現地調査

史跡に指定され、保存されることになったのは、学術的に高い価値を有するこの貝塚を、宅地造成などによる破壊から守るため、今度史跡として指定されたのは、総面積のうち、比較的住宅の建っていない約一万四千八十三平方。これを国八割、県と町各一割の費用分担保で買収して、将来は松島湾を見下ろす史跡公園として生れ変わります。

松島探訪



松島町議会小史

(5)

昭和時代

昭和の出発 元号「昭和」の意は金融恐慌 義は中国の書経の典典の中に「百姓昭和萬邦協和」とあり、世界平和、君民一致を意味するものといわれた。

昭和元年はわずか七日間で終わったのであるから、昭和の出発は事実上昭和二年に始るといえる。

この年は金融恐慌と呼ばれる「銭ショック」で始った。その原因は大震災時に民間銀行に融資した手形の処理の不安から取りつけ騒ぎ



昭和3年・町制施行のときの議員と吏員

前段右より桜井市寿郎・大窪金平・渋谷甚之丞・町長桜井四郎右衛門・大宮司雅之輔・鈴木紋三郎・菅野九左衛門・阿部養之進 二段桜井倉之進・李石勤兵衛・赤間善助・笹城戸勇之進・赤間円蔵・内海元吉・北条徳三郎 三段田代一雄・相沢佐治郎・白戸匡平・斉藤三治・伊藤政治・坂本儀三郎・四段宮田松太郎・東信亮・相沢力衛・菊地泰治・桜井貞助・尾形広造・大宮司政記・円内=武田兵衛

が、東京から地方銀行におよび、さらに第一次大戦後の世界的不況が日を追って深刻となり若槻内閣から政友会の田中内閣に代り、高橋是清蔵相は全国の銀行に、二日間休業と、三週間の支払猶予勅令を行い、その間に日銀から二十億円の非常貸出で、やっとこの恐慌を鎮めた。

この影響を受けて全国的に農村負債は激増して農産物価の低落、米価と糸価の暴落は烈しく各町村

税の滞納は常習となり、殊に寒冷地帯である東北農村の打撃は大きく、小学校教員の俸給は当時市町村財政での全額支払であったので、その支払が遅れる町村が相次いで起るという状況であった。

松島町の わが村では、村

発 足 当局と議会は常に表裏一体となつて、恐慌不況の悪条件をよく克服して、昭和二年(一九二七)

十一月七日の村会に「村ヲ町ニ為スノ件」の第一号議案を桜井四郎右衛門村長が提出した。

大宮司雅之輔議員が立つて、賛同の意を表

すれば満堂の各員が賛成したので、ここに松島村は「松島町」として、昭和三年一月一日に発足することの決定をみた。その議案はつぎのとおりである。

第一号議案

一、昭和三年一月一日ヨリ松島

村ヲ松島町ト為スモノトス

説明・村ヲ町ト為スハ市街地連

担戸数増加セルニ依リ開

発上希望スル所存以ナリ

昭和二年十一月七日提出

松島村長桜井四郎右衛門

昭和三年(一九二八)町政施行

時の人口は八七六八人、戸数は、

一、二、四戸で町の当初算額は五

万八千五百円であった。



昭和2年の松島劇場 (止はそのころの林長二郎・大河内伝次郎)

マス・コミ 大正デモクラシー

文化の流れ によって、昭和のはじめ頃は、現在みられるような巨大なマスコミの原型が、ほぼ整いつつある時代でもあった。

無声映画(活動写真)が大衆のものとなり、高城の三浦栄助氏が明治末期から行なっていた馬検場の芝居小屋に、活動写真が益正月縁日などに上映されており、昭和二年(一九二七)宮城電鉄の経営

で、宝塚劇場を模してつくられたという「松島劇場」が海岸の広場に建設された。同年には松島郵便局が特設電話架設を行ない、町内では四十五名が加入した。

翌三年の六月に仙台放送局が放送を開始したので、海岸や、高城の裕福な家庭などでは、竹竿を樹

でアンテナをつなぎ、ラッパ管付のラジオを聴いた。また鉱石で検波しながら、レシーバーで聴く家庭もあった。ラジオ、新聞が家庭になくはならないものになったのは、当町では日支事変に入ってからである。河北新報は高城の上総亀治郎氏が取扱っていた。

各新聞もスポーツ、婦人、家庭娯楽の欄が拡大され、「キング」をはじめ講談社の九大雑誌が愛読された。

手廻の蓄音機が電蓄になり、高城の佐々木ラジオ店が流す流行歌を軒先の路上に涼台を出して団扇で蚊を追いながら、聴いていたのんびりした時代だった。

各部落のお祭には、南部神楽や、法印神楽などが演ぜられ、磯崎の祭りには奉納の草角力が盛んだった。

紫神社の祭典には高城の青年団が、本町の団員は集団踊(証城寺の狸ばやし、シンジロゲやシンジロゲなど)新町の団員は(不知婦や金色夜叉など)の新派狂言の一場面を路上で演じて、祭気分を盛り上げるのには、なくてはならない役割を果していた。昭和二年の「町議会議事録」の決算書を見ると、当町の男子青年団(四〇〇名)に百円、女子青年団(二五九名)に五十円の町補助金が支出されている。

(以下次号に)

カメラ スポット

納税組合長移動会議

去る3月25日昭和48年度納税組合長移動会議を蔵王ハイツで行い153名が出席し盛大に行われました。



春の消防演習が実施される

春の火災予防の一環として、去る3月22日松中の校庭にて、消防団員三百余名、塩釜消防署ハシゴ車(18メートル)、化学消防艇松島分署員並びに化学消防車等の参加を得、来賓として塩釜警察署伊沢副署長ほか多数の臨席のもと磯田町長より力強い訓示があり、厳肅のうちに挙行、引き続き海岸広場にて「無火災の祈願」をこめて実地放水がなされ、終了した。



体協、卓球、サッカー大会

体協主催の卓球大会が2月24日松高体育館で、サッカーが3月21日から27日まで第一小グラウンドで開催され、卓球団体優勝は松島クラブ、個人は男子樋口敏夫さん、女子佐々木秀子さん、小学校の部は第四小が、サッカーは小学校高城、中学校磯崎、一般高城が優勝しました。



図書館寄贈運動終る

公民館図書室に

みなさんより八百七十七冊の寄贈
ご協力ありがとうございました

昨年十一月十日より本年三月三十日まで、図書一万冊寄贈運動を展開しましたところ、総代員のみなさんや、分館長さんのご協力により、八十八名のみなさんから八百七十七冊を寄贈されました。この貴重なみなさんの心のこもった、この本を公民館の巡回図書に活用いたします。

- ご報告といたします。
- 寄贈者ご芳名(敬称略)
- 松島 武市通弘・高橋忠雄・色川洋輔・石川敏・加藤弘幸・村田欽司 高城 中村芳春・鈴木三男・西沢信男・木村与市・京野英一・伊藤園郎・武本弘子・木村金之助・坂時輝・磯崎傳・高橋仁・尾方時男・長江清・瀬上五郎・手島清・西沢久男・佐藤繁・磯崎みよし・横山進・瀬野尾正・早坂正巳・蜂屋節郎・岩本隆 本郷 北村多美男・渋谷巖 磯崎 伊藤政治・石川昭治・小野俊男・塩沢亮・大山

- 広 菊地四郎・大山茂雄・大山紀美子・今野忠一・高野一子・白鳥隆寿・木村喜之助・山内まつ子
- 手塚 虎川松郎・佐藤晴・千葉信郎 北小泉 菊地勇市・林崎かしく・飯川八郎・飯川三千三 下竹谷 安久津美器・智一郎・裕子上竹谷 角田喜平治・佐々清三郎
- 大友行雄・大友美年夫・大友勲 幡谷 里見鴨行・石川新治郎・佐々木清 後根廻 伊藤美恵子・土井いさみ・土井透・土井清 初原千坂信雄・広田勝吉・石川徳右エ門・桜井善藏・木村健一郎・伊賀広太・高橋盛・荒井宏・石田正憲
- 桜井岩治 桜渡戸 高橋正彦 井豊治・蜂谷恒平・三浦喜一郎・大山彦右エ門・小幡清次・大山政雄・小幡武夫・郡山悦・小幡藤雄 大山幸市

家庭教育相談 事業のお知らせ

昨年度から、県教委と町の教育委員会が協力のもとに家庭教育相談事業をすすめています。この事業は、乳幼児教育上のいろいろな問題について、第一子に三才児(昭和四六・四七・四八・四九出生)をもつご両親の相談に応じお子さんを育てられるうえで、ぜひ心がけていただきたいことから記入した。往復はがきを五月から一月まで十回、あなたの家におとどけますので気楽にご回答をお願いいたします。

町教育委員会で なう各学級について

- 一、家庭教育学級
目的 子供を調和のとれた家庭人として、りっぱな成人社会に仲間入りできるようにするためにどんな配慮が必要か
対象 松一小、松中
- 二、高令者学級
目的 学級を通して皆と話し合い、積極的に生きがいを探り、興味、教養の充実と健康維持につとめる
対象 満六十五才以上の希望者
- 三、母親学級(各小学校)
PTAで開設、仲間づくりと、こどものしつけについて学習
- 四、婦人講座
婦人会と共催 学習と話し合い

編集後記

皆さんの原稿をお寄せ下さい。お待ちしております